

## 令和3年度事業報告

### ◇事業活動の基本方針

公益社団法人へ以降して9年目の事業年度であり、定款のもとで公益事業として掲げた「税の普及」と「納税意識の高揚」に努め、「会員企業と地域社会の健全な発展」に資することのできる事業に取り組んだ。

ただ、一昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度においても、活動を中止または規模を縮小しての開催となった。

### ◇主な事業報告

当会としては、感染状況を見ながらウィズコロナの対応になったが、主要な事業である「講演会」等は中止、また地域との共催事業のほとんどが中止せざるを得なかった。

そのような状況にあって、青年部会が行う「租税教室」や女性部会が行う「絵はがきコンクール」と「手作り雑巾贈呈」事業は、コロナ禍でも学校側が快く受け入れて頂き、ほぼ例年に近い数の実施が出来た。

企業支援の一環でもある各種研修会は、インボイス制度や新設法人説明会など、時代の要請に応えた研修会の開催の確保に努めた。

#### I 公益目的事業関係

##### 1、税知識の普及を目的とする事業（公1）

税知識の普及事業として、6月に種子島税務署 勝木弘文署長を講師に迎え「税務行政あれこれ」の講演会を実施した。

種子島税務署 猿渡洸調査官を講師に迎え、9月に種子島地区にて「消費税の適格請求書等保存方式インボイス制度について」の研修会を実施した。

11月に種子島税務署 江嶋弘通上席国税調査官と江口俊彦 社会保険労務士を講師に迎え、新設法人説明会にて「会社の税金・労務について」の研修会を実施した。

##### 2、納税意識の高揚を目的とする事業（公1）

納税意識高揚事業として、熊毛地区租税教育推進協議会の「租税教室」に参加した。青年女性部会を中心に小学校5校で、講師として授業をしました。その中で税金クイズ〇×方式の解説採点をし、法人会文具グッズや税に関する本の配布等を実施した。

また、西之表市「種子島鉄砲村商工フェスティバル」で舞台上にて子供たち参加型の「税金クイズ」を実施した。

女性部会が実施する「税の絵はがきコンクール」は、一市三町の小学校5、6年生を対象にし、20校で250点の作品の応募がありました。審査会は、熊毛地区美術協会、種子島税務署の署長・総務課長、法人会会长、女性部会役員を審査委員として招へいし、優秀作品に対しては各小学校を訪問して表彰状と記念品を授与した。全作品を各地区で展示し、令和3年度「税に関する作品集」に掲載した。

ホームページを活用した税の広報事業・e-Tax推進事業につきましては、研修会、租税教室、税を考える週間などにおける活動状況をタイムリーに掲載するなど地域一般の皆さんへも情報公開しています。

### 3、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業（公1）

令和4年度税制改正に関するアンケート調査の実施については、税制委員をはじめ役員、青年・女性部会役員にお願いしております。

毎年、全国大会において、本年度の税制改正要望事項が発表され、毎年11月に作成される税制改正提言書を会長、副会長、税制委員長が同伴して、西之表市の市長、市議会議長、税務課長、中種子町の町長、税務課長、南種子町の町長、副町長、税務課長、屋久島町の町長へ手渡して税制改正提言事項を説明し理解と協力をお願いしました。

### 4、地域社会への貢献事業（公2）

#### ① 公開講演会

11月に屋久島地区にて、(株)清友 代表取締役 宮之原朋子 氏を講師に迎え、屋久島町キャリア教育研究協議会研修会にて、「魅力学コミュニケーションの重要性」を岳南中学校にて講演会を実施した。

#### ② 美化・緑化活動

自分たちの住む町をきれいにしようと、美化・緑化活動を実施した。屋久島町では、屋久島観光協会の後援として屋久島海祭りに参加し、南種子町では、浜田海水浴場の海岸清掃・大浦川マングローブ周辺清掃・竹崎海岸のごみ拾いを主催し、南種子町では、花いっぱい運動を実施し、街の店舗等に飾りました。

#### ③ 手作り雑巾贈呈

地域社会への貢献活動として、本年度で18回目となりました。

県教育委員会と連携し、部会員一人一人に手作り雑巾を7枚依頼した。

本年度は、西之表市立小中学校4校へ訪問し、250枚寄贈しました。

### 5、地域企業の健全な発展を目的とする事業（公2）

## II 収益事業等関係

### 1、会員企業の福利厚生に関する事業（他1）

法人会企業の企業保全と人材保障を備える法人会の福利厚生事業として以下の制度の推進と普及拡大を図りました。

経営者大型保障制度の普及推進、ビジネスガードの普及推進、がん保険制度・医療保険制度の普及推進、貸倒保障制度（取引信用保険）の普及推進

### 2、組織運営と財政基盤の強化

近年減少している会員並びに福利厚生制度の加入推進を図りました。

また、コロナ感染拡大防止の観点から、会員交流会をなかなか開催することができず、法人会のメリットである情報交換の機会が減ることとなった。

本年度は、役員皆様の協力のもと会員数が増加になりました。

## III 公益法人に向けた体制作り

公益法人制度が求める各種規定の整備を行った。また、会計基準や助成金制度の変更に対応するため、事務の構築や規定の見直しに努めた。